

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成30年11月8日

都市名・国 伊勢原市（神奈川県）

取組の名称	戦争体験インタビュー（被爆者の会ドキュメンタリー）映像を用いたワークショップ事業
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input checked="" type="checkbox"/> 複合（市民提案型協働事業にて実施）
テーマ・目的	戦争体験継承
対象者 (年齢・学年、人数等)	中学生以上20名
実施場所	伊勢原市役所内会議室
実施期間	平成28年度：8月20日（土） 平成29年度：7月28日（金） 平成30年度：7月30日（月）
<p>取組の概要（授業、イベントはプログラムの次第を、その他（例：コンテスト等）はそのプロセスを、具体的に記入してください。）</p> <p>平成26年度より東海大学文学部（現在の文化社会学部）広報メディア学科水島研究室と提携し、伊勢原市に縁のある人物に戦争体験に関するインタビューを行う事業を実施している。</p> <p>平成28年度より、作成した映像を題材に、戦争と当時の暮らしについて考え、その記憶をどのようにして継承していくべきかを話し合うワークショップを実施している。</p> <p>なお、インタビューの撮影及び編集は同ゼミの学生が実施しており、戦争体験者が若い世代に戦争体験を継承するという形で実施している。</p> <p>ワークショップについては、ファシリテーションを同ゼミの大学生が実施し、さらに平成29年度からは中学生の広島派遣事業の事前学習も兼ねて実施しており戦争体験者とこれから広島へ平和学習に派遣される中学生が戦争について話し合う機会としている。</p> <p>平成30年度については新たな展開として、市内被爆者団体にスポットを当てたドキュメンタリー映像を作成しており、ワークショップもその作成中の映像を用いて実施した。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>戦争体験者及び戦後間もない頃に幼少期を過ごした参加者からは、戦争について若い世代と話をすることができ、戦争体験を継承することができたのを感じたという感想があった。</p> <p>広島に派遣される中学生からは、地元の戦争体験者から、市内でも戦争被害があったことなどを戦争体験者から直接聞くことができ、継承の必要性を感じることもできたとの感想があった。</p>	
<p>成果</p> <p>戦争体験を題材に、戦争体験者と戦後間もない頃に幼少期を過ごした世代、若い世代の三者で話し合うことで、戦争体験を次世代へと継承し、その継承の大切さを啓発することができた。</p>	
<p>課題</p> <p>一般の参加希望者が少数のため、参加希望者の増加が期待できる周知方法が必要である。</p>	
<p>取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）</p> <p>作成した戦争体験インタビュー映像、被爆者の会ドキュメンタリー映像</p>	
<p>上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能（素材を添付してください） <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。

## 戦争体験インタビュー/被爆者の会ドキュメンタリー映像を用いた

### ワークショップ事業

○平成28年度



○平成29年度



○平成30年度

